

東日本大震災から8年

震災経験を学び、防災・減災へ つなげよう

—フォトボイス（写真と声）を通して—

展示&トークイベント

被災した女性たちの多様な視点による8年間の写真と「声」の展示をぜひご覧ください。
岩手県沿岸部と福島から招いた語り部（写真と声の作者）による、被災経験と防災・復興への思いと提起を、共に考え話し合しましょう。

フォトボイス（PhotoVoice）とは

1990年代初めにアメリカで開発された手法。社会的発言力の弱い立場の人々が自ら心情や社会の課題などを撮影し、「声」として撮影者のメッセージもつくる。声の発信や課題解決のために有効な手法として海外で広く実践されており、東日本大震災の女性支援に応用されている。

（掲載の写真はプレゼンター自身が撮影したものです。「声」は写真ともに展示します）



宮古一釜石 つながった
三陸鉄道 撮影 エミ



宮古駅裏に移転した新市役所
本庁舎 撮影 良子



放射能から離れてのびのびと
遊ぶ子どもたち 撮影 みゆ

展示 11/22（金）～12/2（月）9：00～21：30

※土・日は17：00・最終日は15：00まで

場所：もりおか女性センター 交流コーナー（プラザおでって5階）

トークイベント

トークイベントは申込みが必要です（裏面参照）

撮影者（被災者）が語る—震災の経験と防災

11/23（土、祝日）13：00～15：00

会場：プラザおでって 大会議室（3階）

定員30名
参加費無料

プレゼンター（語り部）：エミさん（宮古市） 良子さん（宮古市） みゆさん（福島市）

ファシリテーター 吉浜美恵子（NPO法人フォトボイス・プロジェクト共同代表、ミシガン大学社会福祉学大学院教授）

トークイベントは託児付きです。（有料・要申込）

→詳細は裏面参照

主催：盛岡市・もりおか女性センター

共催：NPO法人フォトボイス・プロジェクト（展示・語り部の会はYahoo!基金 東日本大震災復興支援助成を受けています）

フォトボイス・プロジェクトの活動

2011年3月11日の東日本大震災発生以来、フォトボイスの手法を用いて、被災した女性たちの支援を実施している。岩手県宮古市、宮城県仙台市・石巻市・女川町（おながわちょう）、福島県福島市・郡山市、東京（自力避難者の女性たち）の7地域にグループがある。訓練を受けたファシリテーターによって、写真を介して本音を語り、メンバー同士の相互交流、相互理解の場となっている。

写真と声のパネル展示や撮影者が語り部として被災経験と防災のあり方を語る会を各地で開催している。

HP:<http://photovoice.jp>

『写真と声集 No1 No2』刊行。国立女性教育会館「災害復興支援女性アーカイブ」に写真と声（英文とも）掲載。
(http://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337Wd)

トークイベントの申込み

10月18日（金）10：00～

[グーグルフォーム](#) または、電話 [019-604-3303](tel:019-604-3303) でお申し込みください。



グーグルフォームでの
申込みはこちら



託児

- 対象：生後6カ月から未就学の子ども
定員：先着5人
有料：一人500円
申込：トークイベントと一緒に申込みください。
託児締切：11月8日（金）

【お申込み・問い合わせ】

もりおか女性センター

（指定管理者：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて）

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通 1丁目 1-10
プラザおでって 5F

＜開館時間＞（第2火曜は休館日）

月曜～金曜：9：00～21：30

土・日・祝：9：00～17：00



もりおか女性センター
ホームページ

TEL：019-604-3303

FAX：050-2013-4750

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

もりおか女性センターは、
SDGsの実現に向けた活動に参画しています。

